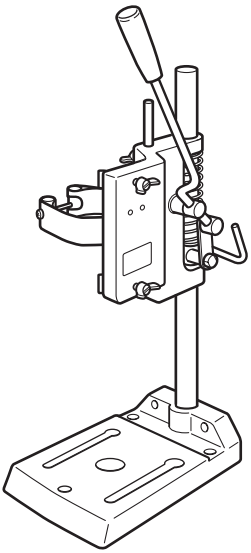
Hitachi Koki

日立ドリルスタンド

D13-DS

取扱説明書

このたびは日立ドリルスタンドをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，電気ドリルの取扱説明書と一緒に，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



HITACHI

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠ 警 告 ： 誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注 意 ： 誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。

ドリルスタンドの使用上のご注意

本ドリルスタンドは，3ページに指定した日立電気ドリル専用のスタンドです。これらの電気ドリルを取付けて安全にご使用いただくために次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

① **スタンドのベースを付属の木ネジで作業台にしっかりと固定してください。**
しっかりと固定しないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **電気ドリルや付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

③ **材料が錐により振り回されないように，バイスなどを使用して，しっかりとおさえてください。錐の抜けぎわに材料が回されることがあります。**
しっかりとおさえないと，材料が回されて，けがの原因になります。

④ **使用中は，回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑤ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店・または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⚠ 注　意
① **使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。** 回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。 ② **穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので，触れないでください。** やけどの原因になります。 ③ **回転させたまま，放置しないでください。** けがの原因になります。

各部の名称

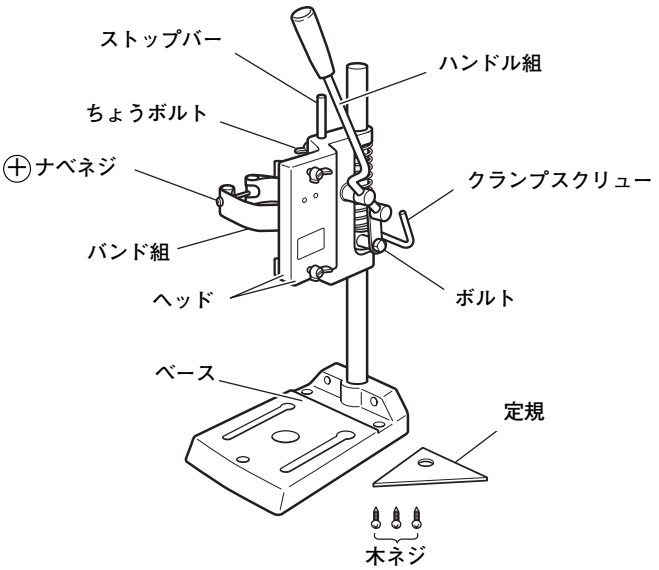


図　1

標準付属品

○ 定　　規‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1
○ 木 ネ ジ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥3

仕　　様

○コラムの高さ：　　450 ㎜
○穴あけ能力：　　13 ㎜（金工）
○錐の最大送り：　　60 ㎜
○スイング：　　230 ㎜
○ベース作業面：　　約 160 ㎜ × 170 ㎜
○質　　量：　　4.5 kg

用　　途

電気ドリルを取付け，各種金属，木材，プラスチックなどの穴あけ作業

適用電気ドリル

最大穴あけ能力（鉄工）	形　　名　　（＊付は旧形機種です）
5 ㎜	※DG-5
6.5 ㎜	D-6C　LUh7　LUh-DH4　＊D-6B　＊D6V ＊DH-6　＊LUh6　＊LUh-DH3
	※D6BA　※DG-6　※LU-GN3　※＊LU-GN2
10 ㎜	D-10C　DW15Y　NU-DH4　UT8V　＊D-10B ＊D10V　＊DH-10　＊DMT-10　＊DR-10A　＊NU-DH3 ＊NU-SH3　＊LUT-DM3　＊LUT-DM4　DVR-10
	※D10BA　※DG-10A
13 ㎜	BUℓ-SH3　BUW-SH3　D13TA　D13V　D13VA2 DM-13A　＊DMT-13A　DWB-30　＊BUℓ-SH2　＊BUW-SH2 ＊D13VA　＊DMT-13　＊DMY-13A　＊DW-24　＊DW-24A ＊DWB-24　＊DW-30

注
- **※印付の製品には，別売部品のバンド（B）〔コード№ 964589〕が必要です。別途，お買い求めください。**
- **ドリルでの穴あけ用です。穴あけ以外には使用しないでください。**

組立て方

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ず電気ドリルのスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．スタンドの固定……

スタンドのベースを付属の木ネジで作業台にしっかりと固定してください。

2．電気ドリルの取付け方……

図２のように電気ドリルをヘッドに取付けます。
電気ドリルを押さえながら⊕ナベネジを締めます。（図３）

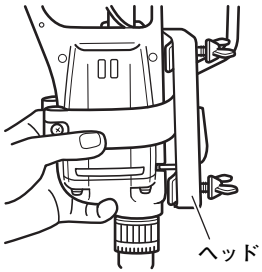


図　2

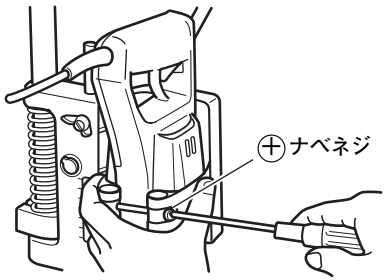


図　3

3．直角度の出し方……

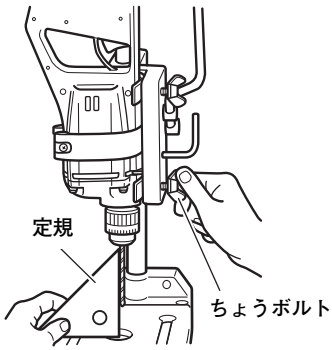


図　4

電気ドリルをヘッドに取付けた後，ちょうボルトで電気ドリルを直角にします。付属の定規により正しい角度かどうか確めてください。

注 • **ちょうボルトを強く締付けすぎると，電気ドリルのハウジングなどの変形の原因になりますのでご注意ください。**

4．ヘッドの位置決め……

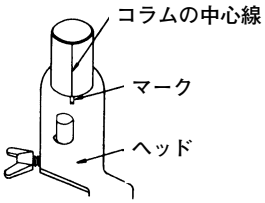


図　5

まず，ヘッドをしっかり保持して，クランプスクリューをゆるめます。コラムの中心線とヘッドのマークを合わせて固定します。ハンドルを引きおろし，錐がベース穴部に入ることを確めてください。

注 **• ヘッドを保持しないでクランプスクリューをゆるめると，ヘッドが落下するので，ご注意ください。**

5．穴あけ深さの調整……

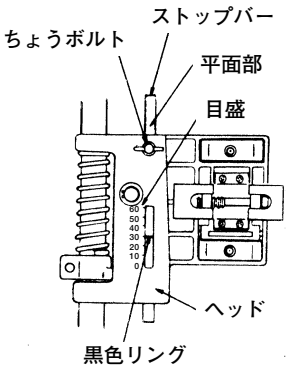


図　6

ヘッドには目盛が設けられています。これから穴あけしようとする深さの目盛に黒色リングを合わせて，ちょうボルトで固定してください。

目盛量は，錐先と加工材の隙間分だけ所要の切込み深さに加算して，調整してください。（図６）

注 **• ストップバーを固定する場合は，必ずストップバーの平面部をちょうボルトで押すようにしてください。**

作業前の準備

1．センタポンチを打っておく……

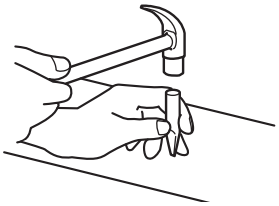


図　7

鉄工錐を使って金属に穴をあける場合は，穴あけ位置に前もってセンタポンチを打っておきますと，錐先がすべらず安定して穴をあけられます。（図７）

2．切削油を付ける……

金属に穴あけするときは，ミシン油や石けん水を筆や歯ブラシなどで錐につけると錐が長持ちします。木材のときは油をつける必要はありません。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。１～２項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずに，さし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金を引くと入り，離すと切れます。

スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

使 い 方

1．スイッチが入っていないことを確かめ，さし込みプラグを電源にさし込みます。

2．電気ドリルのスイッチの引金を引き，ストッパを押してください。

指を離してもスイッチは入ったままになっておりますので，切るときは再び引金を引いてから離しますとストッパがはずれます。

3．錐が勢いよく回転しましたら，スタンドのハンドルを静かに下側に引いてください。

4．切りくずが調子よく出る程度にハンドルを引いてください。

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先をいためて作業能率が低下するだけでなく，本機の寿命も短くなります。

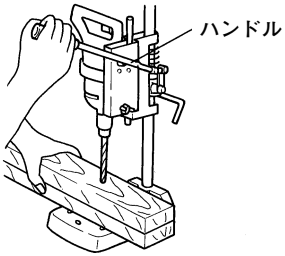


図　8

保 守・点 検

⚠ 警　告
• **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．錐の点検……

錐の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．注油について……

ドリルスタンドの回転部や摺動部には，ときどき機械油かミシン油などの注油をしてください。

4．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○ 温度が急変する場所
- ○ 直射日光の当たる場所
- ○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ　　モ

メ　　モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・電話番号を下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販　売　店			電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626㈹
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル）	☎(011) 271-4751㈹
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676㈹
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0629㈹
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811㈹
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311㈹
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）	☎(06) 4796-8451㈹
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）	☎(082) 228-0537㈹
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191㈹
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772㈹

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　C99069701　N